

# 平成29年度「みえ出前トーク」テーマ一覧

1.防災・減災					
テーマ番号	テーマ	テーマ概要	部局名	課名・地域機関名	電話番号
1-1	みえの防災対策	南海トラフ地震や活断層（内陸直下型）による地震の発生が危惧され、また、近年台風や豪雨による風水害も多発しており、防災・減災対策の必要性が高まっています。自然災害に対する「自助」「共助」「公助」として、県民の皆さん、地域、行政が行う防災・減災の活動等についてご説明します。	防災対策部	防災企画・地域支援課	059(224)2185
1-2	森林災害復旧	台風や集中豪雨によって被害を受けた保安林等の重要な森林の災害復旧や、水源の涵養機能・土砂の流出防止機能等の森林の持つ公益的な機能を十分に発揮する森林整備等についてご説明します。	農林水産部	治山林道課	059(224)2575
1-3	災害復旧	災害復旧事業についてご説明します。（自然災害発生時などの繁忙期にはご希望の日程に添えない場合があります。）	県土整備部	施設災害対策課	059(224)2683
1-4	土砂災害から身を守るために	土砂災害の特徴や発生事例をご紹介しますとともに、三重県が行っている土砂災害対策の取組や県民の皆さんが土砂災害から身を守るためにできることをご説明します。	県土整備部	防災砂防課	059(224)2697
1-5	洪水等の浸水被害からまちをまもるために	洪水等の浸水被害を軽減するために行われている河川や排水機場の整備・補修についてご説明します。	県土整備部	河川課	059(224)2682
1-6	これからの海岸のあり方	海岸を取り巻く状況とこれからの海岸のあり方などについてご説明します。	県土整備部	港湾・海岸課	059(224)2690
1-7	管内の河川整備について	管内における河川整備の現状と今後の取組についてご説明します。	県土整備部	桑名建設事務所 事業推進室	0594(24)3627
1-8	管内の河川整備について	管内における河川整備の現状と今後の取組についてご説明します。	県土整備部	四日市建設事務所 事業推進室	059(352)0677
1-9	管内の河川整備について	管内における河川整備の現状と今後の取組についてご説明します。	県土整備部	鈴鹿建設事務所 事業推進室	059(382)8689
1-10	管内の河川整備について	管内における河川整備の現状と今後の取組についてご説明します。	県土整備部	津建設事務所 事業推進室	059(223)5211 059(223)5210
1-11	管内の河川整備について	管内における河川整備の現状と今後の取組についてご説明します。	県土整備部	松阪建設事務所 事業推進室	0598(50)0582
1-12	管内の河川整備について	管内における河川整備の現状と今後の取組についてご説明します。	県土整備部	伊勢建設事務所 事業推進室	0596(27)5295
1-13	管内の河川整備について	管内における河川整備の現状と今後の取組についてご説明します。	県土整備部	志摩建設事務所 事業推進室	0599(43)9632
1-14	管内の河川整備について	管内における河川整備の現状と今後の取組についてご説明します。	県土整備部	伊賀建設事務所 事業推進室	0595(24)8228
1-15	管内の河川整備について	管内における河川整備の現状と今後の取組についてご説明します。	県土整備部	尾鷲建設事務所 事業推進室	0597(23)3544
1-16	管内の河川整備について	管内における河川整備の現状と今後の取組についてご説明します。	県土整備部	熊野建設事務所 事業推進室	0597(89)6144

## 2.命を守る

テーマ番号	テーマ	テーマ概要	部局名	課名・地域機関名	電話番号
2-1	みんなで支える介護保険	介護保険は、40歳以上の方が被保険者となり、介護が必要になったら、サービスを受けながら、それぞれの方にふさわしい自立した生活を送るためのしくみです。このしくみについてご説明します。	健康福祉部	長寿介護課	059(224)3327
2-2	自殺対策について	自殺者の現状、国及び県における自殺対策の概要、自殺とうつの関係、自殺予防や心の健康のために、県民一人ひとりができること等をお話しします。	健康福祉部 医療対策局	健康づくり課	059(224)2294
2-3	歯とお口の健康について	歯とお口の健康が、全身の健康につながることから、歯科疾患予防や噛む事の重要性等をお話しします。	健康福祉部 医療対策局	健康づくり課	059(224)2294
2-4	臓器移植について（いのちについて考える）	臓器移植の一層の定着、推進を図るため、より多くの方々に移植医療に対する理解を深めていただき、臓器提供に関する意思表示をしていただくこと等が不可欠であることから、臓器移植の現状等をお話しします。	健康福祉部 医療対策局	健康づくり課	059(224)2334
2-5	がん対策について	全国及び三重県のがんの状況、がんに関する法律や条例、三重県がん対策推進条例に基づく取り組み等についてお話しします。	健康福祉部 医療対策局	健康づくり課	059(224)2294
2-6	三重県立病院の運営状況について	県立病院（こころの医療センター、一志病院、志摩病院）の運営状況についてご説明します。	病院事業庁	県立病院課	059(224)2348

## 3.共生の福祉社会

テーマ番号	テーマ	テーマ概要	部局名	課名・地域機関名	電話番号
3-1	障がい者の自立と共生	これまでの障害者制度改革の流れを踏まえ、社会全体で支えあう三重県の取組を具体的に説明します。また共生社会づくりにむけた、皆様のご意見やご要望をお聴きします。	健康福祉部	障がい福祉課	059(224)2274
3-2	ユニバーサルデザイン（UD）のまちづくり	ユニバーサルデザイン（UD）の基本となる考え方を話しするとともに、県の取組や地域の皆さんが行っていただいている活動をご紹介します。	健康福祉部	地域福祉課	059(224)3349
3-3	農業と福祉の連携について	新規に農業への参入を積極的に考えている福祉事業所や障がい者の方々に対して、新規参入を推進する施策や事例などをご紹介します。皆様との話し合いを通じて、福祉事業所の農業参入や農作業受委託、農業経営体への障がい者の就農など、農業分野における就労の促進をお手伝いします。	農林水産部	担い手支援課	059(224)2354
3-4	水産業と福祉の連携について	新規に水産業への参入を積極的に考えている福祉事業所や障がい者の方々に対して、新規参入を推進する施策や事例などをご紹介します。皆様との話し合いを通じて、漁労作業受委託など、水産分野における就労の促進をお手伝いします。	農林水産部	水産資源・経営課	059(224)2606

## 4.暮らしの安全を守る

テーマ番号	テーマ	テーマ概要	部局名	課名・地域機関名	電話番号
4-1	安心して暮らせるまちづくり	さまざまな主体との協創による安全で安心な三重のまちづくりの推進を図るため、平成29年1月に策定した「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム」に基づく取組について説明します。	環境生活部	くらし・交通安全課	059(224)2664
4-2	「みえ性暴力被害者支援センター よりこ」について	平成27年6月に開設された「みえ性暴力被害者支援センター よりこ」の取組や活動、「みえ性暴力被害者支援センター よりこ」に出来ることなどについて説明します。	環境生活部	くらし・交通安全課	059(224)2664
4-3	飲酒運転0（ゼロ）をめざして	平成25年7月に施行された「三重県飲酒運転0（ゼロ）をめざす条例」に基づき、飲酒運転とアルコール問題を切り口とした情報提供や、飲酒運転根絶に向けた取組などについて説明します。	環境生活部	くらし・交通安全課	059(224)2410
4-4	悪質商法の手口と対処法について	年々、巧妙化する悪質商法について紹介し、その対処法を説明することにより、消費者被害の未然防止、被害拡大の防止をはかります。	環境生活部	くらし・交通安全課	059(224)2400
4-5	薬物乱用	乱用薬物が身体に及ぼす悪影響や薬物乱用の現状等についてご説明し、薬物乱用防止の重要性を県民の皆さんと考えます。	健康福祉部	業務感染症対策課	059(224)2330

4-6	医薬品（くすり）の正しい使い方	医薬品の正しい飲み方や、薬を乱用したときの危険性等についてお話しします。	健康福祉部	薬務感染症対策課	059(224)2330
4-7	献血について	献血のしくみや三重県の献血の現状等についてご説明し、献血の必要性について理解を深めていただきます。	健康福祉部	薬務感染症対策課	059(224)2330
4-8	食品衛生について	食中毒の予防をはじめとする食品衛生についてお話しします。	健康福祉部	食品安全課	059(224)2343
4-9	みんなで取り組む食の安全・安心	県内・国内で食に対する信頼が揺らいでいる中、「三重県食の安全・安心確保行動計画」の内容を中心に、食の安全・安心確保のために県が進めている取組をわかりやすくご説明します。	農林水産部	農産物安全・流通課	059(224)3154
4-10	三重県が行う検査から見える食の安全・安心	三重県が食の安全確保のために策定している監視指導計画（食品製造施設の衛生管理、食品の残留農薬、遺伝子組換え食品、農薬・肥料、生産資材の検査等についての計画）などを用いて、食の安全・安心についてわかりやすくご説明します。	農林水産部	農産物安全・流通課	059(224)3154
4-11	食の安全・安心に関する知識を学ぶ（小学生高学年用）	食の安全・安心に関する知識をクイズ形式によりわかりやすく学んで頂きます。	農林水産部	農産物安全・流通課	059(224)3154
4-12	感染症の発生状況と予防方法	インフルエンザやO157など感染症の発生状況とその予防方法について、ご説明します。	健康福祉部	薬務感染症対策課	059(224)2352
4-13	節足動物由来感染症について	蚊媒介性感染症やマダニ媒介性感染症について、現在判明している知見についてご説明します。	健康福祉部	保健環境研究所	059(329)2923
4-14	三重県感染症情報センターの役割について	三重県感染症情報センターで行っている業務の概要と、皆様に提供している感染症情報の実際についてご説明します。	健康福祉部	保健環境研究所	059(329)2914
4-15	鳥獣害対策について	野生動物による農林水産業被害の現状と、被害対策の県の取組についてご説明します。	農林水産部	獣害対策課 中央農業改良普及センター	059(224)2017 0598(42)6323
4-16	高病原性鳥インフルエンザについて	平成28年度は、当該疾病の発生は本県ではありませんでした。9道県12農場の発生がありました。この疾病について、家畜における病性の解説をするとともに、今後の発生に備えた県の対応策について概要をご説明します。 （消費者視点からの心配事への説明など、様々な形式でのご説明ができます）	農林水産部	畜産課・ 各家畜保健衛生所	059(224)2544
4-17	口蹄疫について	近隣諸国では依然猛威を振っている当該疾病について、家畜における病性の解説と県で進める防疫対策について概要をご説明します。	農林水産部	畜産課・ 各家畜保健衛生所	059(224)2544
NEW 4-18	三重県の温泉について	三重県の温泉の特徴や活用方法、衛生管理等の取組についてお話しします。	健康福祉部	保健環境研究所	059(329)2917

5環境を守る					
テーマ番号	テーマ	テーマ概要	部局名	課名・地域機関名	電話番号
5-1	きれいな空気の保全	私たちの毎日の暮らしに大切な空気は今どうなっているのでしょうか。微小粒子状物質や光化学オキシダントの現状や対策について説明します。	環境生活部	大気・水環境課	059(224)2380
5-2	伊勢湾再生に向けて～伊勢湾の現状と取組～	伊勢湾が現在どのような状態にあるか、水質等の状況をわかりやすい指標でご説明します。また、伊勢湾の再生に向け、私たちができる取組などを紹介します。	環境生活部	大気・水環境課	059(224)2382
5-3	伊勢湾再生に向けて～伊勢湾の漂流・漂着ゴミ～	漂流・漂着ゴミは海浜の利用や景観上の問題を引き起こしており、海洋生物等への影響についても懸念されています。平成21年度には海岸漂着物処理推進法も制定されました。伊勢湾における漂着ゴミの現状など、これまでの調査結果をもとに、伊勢湾再生に向けた対策等について説明します。	環境生活部	大気・水環境課	059(224)2382
5-4	三重県の地球温暖化の現状と将来予測	三重県の気候変化の現状と将来予測について説明します。また、避けられない気候変化への対応について、すでに始まっている取組などを紹介します。	環境生活部	地球温暖化対策課・地球温暖化防止活動推進センター	059(224)2368

5-5	水質チェック	「バックテスト」という方法でいろいろな水の汚れ具合を調べていただきます。生活排水が川や海の水を汚していることを実験によって理解していただき、自分たちに何ができるのか考えていただきます。※使用する検査キットは依頼者の実費負担となります。詳しくはご相談下さい。	環境生活部	環境学習情報センター 【地球温暖化対策課】	059(329)2000
5-6	大気調査	簡易測定カプセルで採取した二酸化窒素の量を測定することで大気の流れ具合を知っていただきます。そこから二酸化窒素の発生源や影響を学んでいただき、空気を汚さないために自分たちにできることを考えていただきます。※使用する検査キットは依頼者の実費負担となります。詳しくはご相談下さい。	環境生活部	環境学習情報センター 【地球温暖化対策課】	059(329)2000
5-7	ふるしき活用講座	最近では使われなくなってきた「ふるしき」の繰り返し使える良さを見直すことから、物を大切に使うことや、ごみ問題についてお話し、生活の中ですぐに使えるふるしき活用法を実習していただきます。	環境生活部	環境学習情報センター 【地球温暖化対策課】	059(329)2000
5-8	自然体験	野外に出て、自然観察、ハードウォッチング、水生生物調査等を実施し、身近な自然から気づきの機会を提供します。講座内容は希望などを伺って実施します。	環境生活部	環境学習情報センター 【地球温暖化対策課】	059(329)2000
5-9	ごみ・リサイクル講座	家庭でできるごみゼロ、3Rの実践についてお話しします。ごみを減らすことの重要性や、出されたごみが資源として再利用される「循環型社会」について学んでいただきます。	環境生活部	環境学習情報センター 【地球温暖化対策課】	059(329)2000
5-10	買い物ゲーム	模擬的な買い物を通じて、買い物の際に容器包装ごみが多く発生することを体験していただきます。体験実習後、ごみに関してご説明し、ごみが増えると何が問題なのかを学んでいただくとともに、ごみを減らす方法を考えていただきます。※20名以上でのお申し込みをお願いします。	環境生活部	環境学習情報センター 【地球温暖化対策課】	059(329)2000
5-11	地球温暖化と省エネルギー	地球温暖化のメカニズムや温暖化が進むことによって起こる問題について説明し、身近にできる省エネルギーの実践を考えていただきます。	環境生活部	環境学習情報センター 【地球温暖化対策課】	059(329)2000
5-12	電気自動車等を活用した低炭素なまちづくり	観光や地域づくりに電気自動車等を活用した低炭素なまちづくりの取組が進んでいます。県内での電気自動車導入事例や電気自動車の特性や環境性能などについてご説明します。	環境生活部	地球温暖化対策課	059(224)2368
5-13	循環型社会の形成に向けて	県では、循環型社会の形成に向けて取組を進めています。廃棄物の3Rや適正処理、地域での循環形成の取組などについて説明します。	環境生活部 廃棄物対策局	廃棄物・リサイクル課	059(224)3310
5-14	産業廃棄物の適正な処理について	最新の産業廃棄物処理にかかる基準等について解説します。また、適正処理のための優良産廃処理業者認定制度や電子マニフェスト制度について説明します。	環境生活部 廃棄物対策局	廃棄物・リサイクル課	059(224)3310
5-15	三重県災害廃棄物処理計画について	南海トラフや内陸活断層による地震災害、水害、その他自然災害により発生する災害廃棄物処理について、迅速かつ適切に処理するために策定した「三重県災害廃棄物処理計画」について、発生見込量、処理の方法、県と市町の役割等を中心に説明します。	環境生活部 廃棄物対策局	廃棄物・リサイクル課	059(224)2385
5-16	わかりやすい水質分析入門	身近な河川の水質の紹介や簡単な方法で測定する手法を説明・実演します。	環境生活部	保健環境研究所	059(329)2991
5-17	大気中の微小粒子状物質（PM <sub>2.5</sub> ）について	近年、PM <sub>2.5</sub> （微小粒子状物質・・・大気中の粒子状物質のうち粒子径の小さいもの）が、人体への健康影響の面から注目されています。そこで、このPM <sub>2.5</sub> についての最近の情報と県内の実態について説明します。	環境生活部	保健環境研究所	059(329)2927
5-18	生活排水対策について	水質汚濁の主な要因である生活排水を処理するためには、生活排水処理施設の整備が重要であります。当管内の生活排水処理施設整備率は、他の管内と比較して低い状態にあります。当管内における生活排水処理施設のしくみとその重要性を説明するとともに、その機能を保つためには施設設置後の維持管理が非常に大事であることをわかりやすくご説明します。	地域連携部	紀北地域活性化局 環境室	0597(23)3469
5-19	生物多様性について	生物多様性の意味や重要性、保全等に関する取組など活動事例を交えながらご説明します。	農林水産部	みどり共生推進課	059(224)2578
5-20	下水道の役割について	美しい川や海を守り、環境への負荷軽減を図る下水道の役割について、ご説明します。	県土整備部	下水道課	059(224)2725
5-21	北勢沿岸流域下水道について	北勢沿岸流域下水道の現状と取組についてご説明します。	県土整備部	北勢流域下水道事務所 事業推進室	059(352)0694

5-22	中勢沿岸流域下水道について	中勢沿岸流域下水道の現状と取組についてご説明します。	県土整備部	中勢流域下水道事務所 事業推進室	059(223)5090
5-23	宮川流域下水道について	宮川流域下水道事業の現状と取組についてご説明します。	県土整備部	伊勢建設事務所 事業推進室	0596(27)5295

## 6.人権の尊重と多様性を認め合う社会

テーマ番号	テーマ	テーマ概要	部局名	課名・地域機関名	電話番号
6-1	人権が尊重される社会をめざして	平成28年度から取り組んでいる三重県人権施策基本方針（第二次改定）と、それに関連した今日的な課題と県の取組について説明します。また、人権が尊重されるまちづくりの取組についてもお話しします。	環境生活部	人権課	059(224)2278
6-2	人権が尊重される社会をめざして～差別をなくすのはわたしたち～	県内における人権問題のさまざまな事例やデータ、人権尊重のための取組を知っていただき、差別のない社会をつくるために、わたしたちにできることは何かを考えてみましょう。	環境生活部	人権センター	059(233)5516

## 7.学びの充実

テーマ番号	テーマ	テーマ概要	部局名	課名・地域機関名	電話番号
7-1	三重県教育ビジョン	本県の教育の方向性を示す三重県教育ビジョン（平成28年3月策定）についてお話しします。	教育委員会	教育政策課	059(224)2951
7-2	キャリア教育の充実について	一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てるためにキャリア教育の充実が求められています。地域と学校が連携したキャリア教育のあり方についてお話しします。	教育委員会	高校教育課	059(224)2913
7-3	特別支援教育について	平成27年3月に策定した「三重県特別支援教育推進基本計画」に基づく取組について、同計画の概要や特別支援学校での学習の様子をもとにお話しします。	教育委員会	特別支援教育課	059(224)2961
7-4	インターハイを盛り上げよう！ -45年ぶりに三重県で開催！-	平成30年度の全国高等学校総合体育大会（通称、インターハイ）の開催に向けて市町、関係機関・団体、県ならびに高校生が一丸となって開催準備を進めています。出前トークでは、県内での準備状況、インターハイを盛り上げるための高校生の取組及びインターハイならではの魅力についてお話しします。	教育委員会	全国高校総体推進課	059(224)2838
7-5	MieMuで学ぶ！「三重が持つ多様性の力」	三重県総合博物館の基本展示室をテーマに、三重の豊かさや面白さについてお話しします。MieMuのテーマともなっている「三重が持つ多様性の力」について知っていただき、ぜひご自分のお住まいの地域に目を向けてみませんか。	環境生活部	総合博物館	059(228)2283
7-6	公文書館機能ってなに？歴史資料を未来に残し活用するため	三重県総合博物館は全国ではじめて博物館機能と公文書館機能を一体化した総合博物館です。その公文書館機能をテーマに、当館学芸員が県庁に残された歴史資料として重要な公文書の面白さやそこから見えてくる県の政策や県民のくらしの様子についてお話しします。	環境生活部	総合博物館	059(228)2283
7-7	図書館の上手な活用方法	図書の貸出しにとどまらない、県立図書館の広域的で先進的なさまざまなサービスをご紹介しますとともに、県立図書館のほか、市町立図書館など近くの図書館も上手に活用する方法を考えます。	環境生活部	図書館	059(233)1181
7-8	県立図書館の取組-どこにも2つの図書館-	県立図書館は、県全体の図書館サービスの向上をめざして市町立図書館等と連携しながらさまざまな取組を行っています。取組方針である県立図書館改革実行計画や、それに基づく取組について紹介します。	環境生活部	図書館	059(233)1181
7-9	美術館活用術	美術作品や美術館の活動、学芸員の仕事等をご紹介しますながら、楽しく充実した美術館活用法を提案します。	環境生活部	美術館	059(227)2100
7-10	神に仕えた皇女たちのヒストリア -伊勢斎宮のアルバム-	明和町には、国の史跡に指定されている「斎宮跡」があります。ここは、飛鳥時代から南北朝時代の660年間、伊勢神宮に天皇の名代として仕えた未婚の皇女「斎王」が暮らした宮殿の跡です。そんな斎王の横顔や斎宮の歴史を紹介します。	環境生活部	斎宮歴史博物館	0596(52)3800

7-11	「幻の宮」を追い求めて ー「国史跡斎宮跡」発掘の 歩みー	南北朝時代に廃絶した後「幻の宮」とよばれ、長くその所在が明らかでなかった斎宮。その「幻の宮」斎宮が幻でなくなったのは、昭和45年の発掘調査がきっかけでした。それから実施された発掘調査の成果により、昭和54年には国史跡に指定されました。現在もなお続く斎宮跡の発掘調査について、調査に携わる職員が説明します。	環境生活部	斎宮歴史博物館	0596(52)3800	
7-12	重要文化財「斎宮跡出土 品」	斎宮跡は、日本で他に例のない遺跡として国史跡となっています。そんな斎宮跡の出土品の一部は、国重要文化財に指定されています。この貴重な出土品について職員がわかりやすく説明します。	環境生活部	斎宮歴史博物館	0596(52)3800	
7-13	よみがえる斎宮～斎宮跡の 復元建物～	平成27年秋、史跡公園「さいくう平安の社」に、平安時代の役所の中心である「齋庁」の復元建物3棟が完成しました。その建築様式や復元の過程を通して、斎宮の特色や、これからの史跡の活用を紹介しま	環境生活部	斎宮歴史博物館	0596(52)3800	
7-14	三重県の埋蔵文化財 ー発掘調査の成果や、遺 跡について紹介します！ー	遺跡の発掘調査の成果や、遺跡についてお話し、疑問にお答えします。内容によっては、遺跡から出土した資料や写真等も使用します。埋蔵文化財の活用についての意見などがありましたらお聴かせください。	教育委員会	社会教育・文化財保護課 埋蔵文化財センター	059(224)2999 0596(52)1732	
7-15	登録有形文化財（建造物） ～その保護と活用～	まちづくりの大切な素材として近年脚光を浴びている国登録有形文化財（建造物）について、実例を交えその魅力をご紹介します。	教育委員会	社会教育・文化財保護課	059(224)2999	
7-16	文化財の魅力発信！！～な んてステキな三重の文化遺 産～	地域への愛着をはぐくむ文化財！！三重県の優秀な文化財について、実例を交えその魅力をご紹介します。建造物や仏像、お城や庭園といった史跡名勝など、テーマは色々あります。ご相談ください。	教育委員会	社会教育・文化財保護課	059(224)2999	
7-17	三重県の天然記念物	オオサンショウウオ、ネコギギ、カモシカなど県内に広く分布する天然記念物をはじめ、県内各地の天然記念物についてご説明します。	教育委員会	社会教育・文化財保護課	059(224)2999	
7-18	海女トーーーク	海女の習俗や歴史、文化財としての保存・継承についてご紹介します。	教育委員会	社会教育・文化財保護課	059(224)2999	
7-19	世界遺産「熊野参詣道」を 守り伝える	三重県が誇る世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の価値と、未来に伝えていくための取組についてご紹介	教育委員会	社会教育・文化財保護課	059(224)3328	
NEW	7-20	三重の古墳と史跡	三重県には大小さまざまな古墳があります。みなさんのお住まいの近くにもきっと古墳があります。大王や豪族と強いつながりをもつ古墳、九州との交流がうかがえる海辺の古墳など、それぞれの歴史と個性を秘めています。それらについてわかりやすく紹介します。	教育委員会	社会教育・文化財保護課	059(224)3328
NEW	7-21	三重の名庭園	三重県には、室町時代の北畠氏館跡庭園や近代の富豪が築いた邸宅庭園など、全国にも知られた名庭園があります。これら日本庭園の見どころや歴史を紹介します。	教育委員会	社会教育・文化財保護課	059(224)3328
NEW	7-22	三重の城跡	三重県には、江戸時代の藤堂氏や室町・戦国時代の北畠氏などの大名の城、長野氏や関氏などの国衆の城をはじめ、名もない中小領主が築いた城の跡が1,000か所もあります。それらの調査成果をもとに三重の戦国史について大いに語ります。	教育委員会	社会教育・文化財保護課	059(224)3328
NEW	7-23	三重の祭礼行事	東西文化の結節点であり、山の幸、海の幸に恵まれた三重県内に伝えられてきた、さまざまな祭礼や年中行事について、実例をあげながらわかりやすく紹介します。	教育委員会	社会教育・文化財保護課	059(224)3328

8.希望がかなう少子化対策の推進					
テーマ番号	テーマ	テーマ概要	部局名	課名・地域機関名	電話番号
8-1	三重県の少子化対策について	平成27年度からの「希望がかなうみえ 子どもスマイルプラン」に基づいて実施する、三重県の「少子化対策の取組」などについてお話しします。	健康福祉部 子ども・家庭局	少子化対策課	059(224)2404
8-2	子どものネット被害防止	ネット社会の危険性を知らない子どもが犯罪の被害者や加害者になったり、自らネット上に個人情報を開示してしまい、悪用されたりするなどさまざまな事件が問題になっています。子どもたちがネット被害にあわないよう、安全安心な携帯電話やスマートフォンの使用方法等についてお話しします。	健康福祉部 子ども・家庭局	少子化対策課	059(224)2269
8-3	男性の育児参画について	「少子化対策」の重点的な取組のひとつである、「みえの育児男子プロジェクト」についてお話しします。	健康福祉部 子ども・家庭局	少子化対策課	059(224)2304
8-4	里親について	子どもは自分の家庭で親の愛情のもとに生活することが大切ですが、様々な事情で親と暮らすことができなくなった場合、家庭に代わる環境が必要になります。このような子ども達を自らの家庭へ迎え入れ、愛情をもって養育してくれる人が里親です。里親という言葉はいろいろなところで使われていますが、「里親ってなんだろう？」というところから具体的事例も交えお話しします。	健康福祉部	児童相談センター 家庭児童支援室	059(231)5669

NEW

8-5	三重県子ども条例について	子どもが一人ひとりが人として大切にされ、豊かに育つことができる地域社会づくりをめざし、「三重県子ども条例」を制定しました。条例の理念など子ども条例で大切にしている考え方についてお話ししながら、子どもの権利や子どもの育ちを支えることのできる社会について学んでいただきます。	健康福祉部子ども・家庭局	少子化対策課	059-224-2269
-----	--------------	---	--------------	--------	--------------

## 9.スポーツの推進

テーマ番号	テーマ	テーマ概要	部局名	課名・地域機関名	電話番号
9-1	みえのスポーツ	平成30年の全国高等学校総合体育大会、平成33年の三重とこわか国体に向けて、総合型地域スポーツクラブの育成やスポーツイベントの開催など、県民の皆さまにスポーツに親しんでいただき、地域を元気にする、三重県のスポーツに関する取組についてお話しします。	地域連携部 スポーツ推進局	スポーツ推進課	059(224)2986
9-2	競技力向上対策	平成33年の「三重とこわか国体」に向けた本県スポーツの競技力向上と、その後も安定的な競技力が維持されるよう、ジュニア・少年選手の育成、トップアスリートの強化や県内定着への支援、女性アスリートの支援、指導者の確保・養成等の取組についてお話しします。	地域連携部 スポーツ推進局	競技力向上対策課	059(224)2979
9-3	三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催準備	平成33年に開催する「三重とこわか国体」「三重とこわか大会」は、人々が夢と感動を覚え、県民の皆さんが郷土の一体感を感じ、あわせて豊かな交流の輪が生まれ、広がっていく大会をめざしています。出前トークでは、「三重とこわか国体」「三重とこわか大会」の開催概要、会場地市町、実施予定競技や県民運動など開催準備に関する取組についてお話しします。	地域連携部 スポーツ推進局	国体・全国障害者スポーツ大会準備課	059(224)2998

NEW

## 10.地域の活力の向上

テーマ番号	テーマ	テーマ概要	部局名	課名・地域機関名	電話番号
10-1	紀南中核的交流施設、熊野古道センターの概要とその魅力について	平成21年にオープンした紀南中核的交流施設「里創人 熊野倶楽部」は、これまでにない新しいタイプの体験交流型リゾート施設です。また、平成19年にオープンした熊野古道センターは、熊野古道及び古道周辺の自然・歴史・文化をより深く体験していただくためのビジターセンターです。それらの魅力についてご説明します。	地域連携部 南部地域活性化局	東紀州振興課	059(224)2193
10-2	世界遺産熊野古道の魅力と取組	平成16年に世界遺産に登録され、三重県・奈良県・和歌山県の三県にまたがる「紀伊山地の霊場と参詣道」の魅力と、伊勢から熊野へ通じる「熊野古道伊勢路」を活かした取組についてご紹介します。	地域連携部 南部地域活性化局	東紀州振興課	059(224)2193
10-3	農業・農村の多面的機能支払の取組について	農業・農村は、国土保全、水源かん養、景観形成などの多面的機能を有しています。このような多面的機能を発揮させるため、農地、農業用水路、農道などの地域資源の維持保全や生態系保全、景観形成、農業用施設の長寿命化のための補修などに取り組む地域の共同活動を支援する「多面的機能支払事業」の概要についてご説明します。	農林水産部	農山漁村づくり課	059(224)2551
10-4	地域資源活用型ビジネスの取組について	三重県では、中山間地域において、地域の農林水産物をはじめ自然、文化、人等の豊かな地域資源を生かして取り組まれる、地域の活性化はもとより就業機会の創出等にもつなげる経済活動を支援しています。県内で取り組まれている「地域資源活用型ビジネス」についてご説明します。	農林水産部	農山漁村づくり課	059(224)2518
10-5	三重まるごと自然体験構想について	三重の豊かな自然を大切に守りながら、“体験”という方法で活用することにより、三重県を国内外から多くの人が集まる「自然体験の聖地」にしていくための目指すべき姿や取組方向などについてまとめた構想について、ご説明します。	農林水産部	農山漁村づくり課	059(224)2518
10-6	NPOって何だろう？	NPOとは何か。NPOを法人化するにはどうしたらよいか等の疑問にお答えします。	環境生活部	ダイバーシティ社会推進課	059(222)5981

## 11.農林水産業

テーマ番号	テーマ	テーマ概要	部局名	課名・地域機関名	電話番号
11-1	みえフードイノベーション	農林水産資源を活用して、生産者や食品産業事業者、大学など産学官のさまざまな主体の知恵や技術を結集し融合することにより、新たな商品やサービスを革新的に生み出す仕組みづくりとして進めるみえフードイノベーション総合推進事業についてお話しします。	農林水産部	フードイノベーション課	059(224)2391
11-2	三重ブランド認定制度	三重県の豊かな自然、伝統など地域の特徴を生かした生産物の中から、特に優れた県産品と生産者を認定する「三重ブランド認定制度」についてお話しします。	農林水産部	フードイノベーション課	059(224)2395
11-3	食育・地産地消の推進	地域で生産された農林水産物等の地域での消費促進などを通して、生産者と消費者の交流を活発にし地域の活性化につなげる「食育」や「地産地消」の取組状況についてお話しします。	農林水産部	フードイノベーション課	059(224)2395

11-4	人と自然にやさしい三重の安心食材表示制度	消費者が安心して県内農産物を購入しやすくするために、有機質資材による土づくり、化学農薬・肥料の低減環境への負荷が少ない資材の使用に積極的に取り組む生産者が農産物にマークを表示する「人と自然にやさしい三重の安心食材制度」についてお話しします。	農林水産部	フードイノベーション課	059(224)2395
11-5	農業・農村の活性化に向けた「地域活性化プラン」の実践支援事例のご紹介	地域の農業者をはじめさまざまな関係者の創意工夫のもと、農地、景観、文化、人材などの農村の資源を有効に活用し、地域全体で価値を生み出し、高めていく「地域活性化プラン」の取組を進めています。地域の取組の発展や農産物の高付加価値化等の課題を抱えた集落や産地等を対象に、新たな価値の創出につながる取組の実践支援事例をご紹介し、課題解決に向けた必要な支援について意見交換を行います。	農林水産部	担い手支援課	059(224)2016
11-6	三重県食を担う農業及び農村の活性化に関する条例及び基本計画等について	県民の皆さんの食べ物を担う県内の農業生産及び農村地域に関する施策の方向を示した「三重県食を担う農業及び農村の活性化に関する条例」や、その「基本計画」等について、最近のトピックスを交えてご紹介いたします。	農林水産部	担い手支援課	059(224)2016
11-7	農業における育児期の女性の新たな働き方のご紹介	結婚、出産、育児により離職した女性等に、農業やその関連事業での仕事と子育てを両立できる新しい働き方の取組事例をご紹介し、皆様との意見交換をおとして、農業への就労機会の拡大をお手伝いします。	農林水産部	担い手支援課	059(224)2354
11-8	企業の農業参入促進に向けた施策について	農業への参入を積極的に考えている企業等一般法人の方々に対して、実際に農業参入した事例をご紹介しながら、事業プランの作成、土地の確保から技術の習得までの農業参入までの流れや各種支援策などを解説し、三重県で農業を始める企業の皆様のお手伝いをします。	農林水産部	担い手支援課	059(224)2354
11-9	三重県農業農村整備計画	農業の持続的な発展や農村の振興を支える生産基盤を次世代に良好な形で継承するとともに、地域の特性を生かした農業農村整備を計画的に推進するための取組を定めた計画について、最近のトピックスを交えてご紹介いたします。	農林水産部	農業基盤整備課	059(224)2556
11-10	木を知ろう。木を使おう。	木材は再生可能な資源として期待が高まるなか、木材の特徴、用途等についてあらためてご説明します。	農林水産部	森林・林業経営課	059(224)2565
11-11	みんなで支える森林づくり	森林は、土砂災害を防止する機能や水源かん養機能、温暖化防止機能などの公益的機能を有し、広く県民がその恩恵を享受しています。特に、近年では台風や集中豪雨によって山地災害が多発しており、県民の自然災害防止に対する関心が高まっています。このような森林を社会全体で支えるしくみの一つとして、三重県では、「みえ森と緑の県民税」により取組を進めています。森林のさまざまな働きをご紹介するとともに、「みえ森と緑の県民税」の仕組みやその使いみちについてご紹介いたします。	農林水産部	みどり共生推進課	059(224)2513
11-12	森林環境教育・木育	「森林のはたらき」や「森林資源の循環利用」について、子どもたちにわかりやすく伝える森林環境教育や、木製玩具などを通じて、木に触れ、木の香りを知り、木の持つ特徴や魅力などを理解し学ぶ「木育」の取組についてご説明します。	農林水産部	みどり共生推進課	059(224)2513
11-13	つくり育てる漁業について（栽培漁業）	食卓に安全で安心なおいしい魚介類を安定的に届けるため、そのなかで現在県内で取り組まれているつくり育てる漁業である栽培漁業についてご紹介いたします。	農林水産部	水産資源・経営課	059(224)2584
11-14	三重県水産業・漁村振興指針について	三重県水産業・漁村振興指針は県民の皆さまをはじめ、漁業者や水産関係団体等さまざまな主体が、県民力による協創によって希望ある三重県水産業・漁村を実現していくためのガイドラインとなるものであり、策定の考え方や三重県水産業・漁村の役割と課題およびめざす姿についてご説明します。	農林水産部	水産資源・経営課	059(224)2522
11-15	食べ物の不思議（小学生高学年向き）	食生活は健康な生活を維持するための基本。しかし、近年は食生活が乱れています。子どもたちに少しでも日頃食べている食べ物について関心を持ってもらうことを目的として、食べ物の花の名前当てクイズ、材料当てクイズなどを交えながら、「マスクメロンのネットはどうしてできるの？」など科学的な要素も入れた楽しいお話をします。	農林水産部	中央農業改良普及センター	0598(42)6323
11-16	食と健康について（大人用）	食生活は健康な生活を維持するための基本。しかし近年、食生活が乱れ、生活習慣病の要因とも疑われるなど、食生活の改善が望まれているところです。一方、産地偽装、農薬の不適正使用など、食と健康をめぐる問題も多く発生してきています。この食と健康をめぐる課題の現状について、わかりやすくお話しします。	農林水産部	中央農業改良普及センター	0598(42)6323
11-17	農林水産業の大切さを考える（大人用）	日本は世界1位の農林水産物の輸入国です。しかし、世界人口の爆発的な増加、地球の砂漠化に伴う栽培適地の減少など、これまでのような輸入が可能か問題になってきています。食は命を支える。食を支えるのは農業。私たちがこのことについて今どう考え、子どもたちの未来につないでいくかなどをみんなで考えるお話をします。	農林水産部	中央農業改良普及センター	0598(42)6323
11-18	伊勢志摩地域における集落営農について	地域の水田農業を存続・活性化するため、集落営農のねらいや実現するまでの手順をご説明し、各地の取組事例をご紹介いたします。	農林水産部	伊勢農林水産事務所 伊勢志摩地域農業改良普及センター	0596(27)5173



11-19	宮川用水事業について	農業用水管理の省力化と水資源の有効活用による農業経営の安定化をめざし、宮川を中心とした伊勢平野の1市4町（伊勢市、大台町、多気町、明和町、玉城町）の農地A=4, 681haの用水施設改良を実施してしている宮川用水事業について、ご説明します。	農林水産部	伊勢農林水産事務所 宮川用水室	0596(27)5176
11-20	活力ある林業を目指す森林 施策の集約化	「三重の森林づくり基本計画2012」を推進するための森林経営計画や森林環境保全直接支援事業等についてご説明します。	農林水産部	伊勢農林水産事務所 森林・林業室	0596(27)5265
11-21	農産物の新品種の開発	農業研究所では水稲や園芸作物の新品種の育成を行っています。研究所でこれまでに育成した品種（水稲、イチゴ、カンキツ、サツキなど）について、特性や育成のねらいをご紹介します。	農林水産部	農業研究所	0598(42)6355
11-22	機能性成分に着目した農産物の開発	近年増加する生活習慣病の予防や健康作りのために、農業研究所が行っている機能性成分に着目した農産物の生産技術の開発や、機能性食品の開発についてご紹介します。	農林水産部	農業研究所	0598(42)6355
11-23	優良和牛の生産技術（受精卵移植）について	三重県では、肉質等に優れた母牛から、優秀な子牛を生産する取組を行っています。たくさんの優秀な子牛を生産できる受精卵生産技術や受精卵移植技術についてご紹介します。	農林水産部	畜産研究所	0598(42)2029
11-24	三重ブランド牛（松阪牛、伊賀牛）について	三重県は、全国的に珍しい和牛雌牛の肥育産地で、松阪牛・伊賀牛等の三重県ブランドを作り上げています。これらのブランド牛の由来、特徴、飼い方をはじめ、知っているようで知らない牛肉の評価方法からそのおいしさ等についてお話しします。	農林水産部	畜産研究所	0598(42)2029
11-25	地鶏の話	当研究所で開発した地鶏である「みえ特産鶏」の話を中心に、地鶏とはどのようなものなのかをお話しします（JAS法の規定やプロイラーとの違いなど）。また、鶏肉全般についての話なども織り交ぜ、鶏肉の良さをご紹介します。	農林水産部	畜産研究所	0598(42)2029
11-26	きのこはなかなかやるもんだ	三重県で生産されている主なきのこの栽培方法や、きのこの利用方法、きのこの有する機能性についてわかりやすくご紹介します。	農林水産部	林業研究所	059(262)5352
11-27	シカと森林被害の関係	近年、シカによる林業被害が深刻化しています。その実態と被害軽減対策に向けての課題についてご説明します。	農林水産部	林業研究所	059(262)5352
11-28	森で異変が起きている ーナラ枯れて何？ー	三重県でも被害拡大が懸念されているカシノナガキイムシについて、その生態と被害の実態、防除方法についてわかりやすく、解説します。	農林水産部	林業研究所	059(262)5352
11-29	木材は乾燥させて使おう！ ーなぜ木材の乾燥が必要か？ー	木材を使う際に問題となる割れや狂いを防ぐために行われている木材乾燥について、その必要性や方法、効果についてわかりやすくご説明します。	農林水産部	林業研究所	059(262)5352
11-30	水産業・漁村を支える担い手の確保育成について	地域水産業や漁村の活力の向上を図るため、新規就業者等の受入を積極的に考えている地域の方々に対して、新規就業を推進する施策や事例などをご紹介します。皆様との話し合いを通じて、地域が主体となる新規就業者等の受入・支援体制づくりの検討をお手伝いします。	農林水産部	水産資源・経営課	059(224)2606
11-31	三重県沿岸に発生するプランクトンと被害	三重県沿岸に発生する赤潮の中で、人や魚介類に有害・有毒なプランクトンをご紹介します。現在三重県で実施している対策についてご紹介します。	農林水産部	水産研究所	0599(53)0016
11-32	漁業に關係する海の情報を活用する	三重県水産研究所では、水温や潮の流れなど漁業に關係する海の情報をインターネットやFAXを用いて提供しています。これらの情報を多くの人に活用してもらうため、情報の内容と活用事例をご説明します。	農林水産部	水産研究所	0599(53)0016
11-33	伊勢エビを増やす！ ～伊勢エビ研究の最前線～	伊勢エビは三重県の「県のさかな」に指定されている重要な海洋生物であり、漁獲量は全国でトップクラスにあります。水産研究所では伊勢エビを増やすための研究を実施しており、伊勢エビ幼生を飼育して稚エビを生産する技術は世界的にも高いものになっています。出前トークでは、伊勢エビの生態についてご紹介し、水産研究所における最新の研究成果をご報告するとともに、伊勢エビを通じた海の環境変化の様子についてもご紹介いたします。	農林水産部	水産研究所	0599(53)0016
11-34	生き物がつくる宝石 ～あこや真珠の魅力～	真珠養殖業は三重県生まれの産業ですが、真珠についてどれくらいご存じですか？三重県をはじめ国内でつくられる海産真珠は「あこや真珠」と呼ばれ、アコヤガイがつくる宝石です。そのあこや真珠の魅力を多くの人に知ってもらうため、真珠がどのようにできるのか、真珠の良し悪しをどう見極めるのか、なぜ真珠がキラキラ輝くのかなど、あこや真珠の魅力や不思議を水産研究所での研究成果も交えてお話しします。	農林水産部	水産研究所	0599(53)0016
11-35	伊勢湾の漁業と環境	アサリ漁業や黒ノリ養殖など伊勢湾で行われている漁業と伊勢湾の環境についてご紹介します。	農林水産部	水産研究所 鈴鹿水産研究室	0599(53)0016

11-36	魚類養殖をめぐる近年の動向 ～新しい技術の導入～	三重県の南部地域で盛んに行われている魚類養殖。近年は、消費者の食生活の多様性の拡大や高品質志向の高まり等へ対応するため、養殖魚の身質の向上等の取組が盛んに行われています。魚類養殖をめぐる新しい動きや、生産者を支援するための水産研究所の取組をご紹介します。	農林水産部	水産研究所 尾鷲水産研究室	0599(53)0016
11-37	三重県農業版BCPについて	南海トラフ地震に伴う津波被害が発生した際の、農地及び農業用施設復旧の考え方についてご説明します。	農林水産部	農林水産総務課	059(224)2476
11-38	伊賀地域でのコミュニティ林業の推進について	県内の人工林は利用期を迎えています。長引く木材価格の低迷により管理不足の森林が増加するなど、林業を取り巻く環境は厳しいものとなっています。そこで、森林所有者に代わり、住民の結びつきが強い集落（コミュニティ）が、その地域の森林を整備していく『コミュニティ林業』についてご紹介します。	農林水産部	伊賀農林事務所 森林・林業室	0595(24)8142
11-39	お茶の楽しみ方と効用	全国第三位の生産量を誇る「伊勢茶」の楽しみ方や、緑茶の効用について農業研究所の取り組みと併せてご紹介します。	農林水産部	農業研究所	0598(42)6355 0595(82)3125
11-40	GAP制度の概要と三重県の推進方針について	食の安全・安心に対する消費者ニーズの高まりから、農業者が食品の安全や環境の保全などに配慮して営農を行っていることを認める「GAP（農業生産工程管理）認証」を受けて生産された農産物等が求められています。そこで、GAPの仕組みや認証制度等の概要と三重県におけるGAP推進方針等をご説明します。	農林水産部	農産園芸課	059(224)2543

NEW

12強じて多様な産業					
テーマ番号	テーマ	テーマ概要	部局名	課名・地域機関名	電話番号
12-1	三重県中小企業・小規模企業振興条例について	三重県では、「三重県中小企業・小規模企業振興条例」を平成26年4月1日に施行し、地域社会にとって重要な存在である中小企業・小規模企業の特성에 応じて支援を行うことで、中小企業・小規模企業の意欲を引き出していくことができるよう、関係者が連携して様々な取組を進めていくこととしています。そこで、条例と条例に基づく取組の概要についてご説明します。	雇用経済部	中小企業・サービス産業振興課	059(224)2534
12-2	地域資源の活用や農商工連携による産業の活性化	産地の技術、農林水産品、観光資源といった特徴ある地域資源を活用した新たな取組の紹介や、新事業の創出を支援する各種支援策等をご説明します。	雇用経済部	三重県営業本部担当課	059(224)2336
12-3	みえライフイノベーション総合特区について	県では、国から「みえライフイノベーション総合特区」の指定を受け、医療情報を集約、活用する「統合型医療情報データベース」の構築や企業等の研究開発をコーディネートする「みえライフイノベーション推進センター（MieLIP）」を拠点として、画期的な医薬品や医療機器、食品、健康増進サービス等、医療・健康・福祉分野の産業振興を行っています。これらの県の特区に関する取組についてご紹介します。	健康福祉部	ライフイノベーション課	059(224)2331
12-4	食の産業振興について	県が取り組んでいる食の産業振興（みえ食の産業振興ビジョン、国内・海外の販路開拓支援など）についてご説明します。	雇用経済部	中小企業・サービス産業振興課	059(224)2458
12-5	工業研究所の取組について	工業研究所では、地域産業の技術開発を促進するため、新しい分野展開をめざす研究や地域資源を活用した新商品づくりなどに直結する研究などに取り組んでいます。また、企業が自ら行う技術開発を促進するためのお手伝いもしています。県の工業系試験研究機関としての工業研究所の取組についてお話しします。	雇用経済部	工業研究所	059(234)4037
12-6	電磁環境規制と工業研究所の取組について	電磁環境規制とは、製品自身が放出するノイズの大きさや、製品が外部からノイズを受けた際の耐性について、安全性を確保するために設けられた規制です。デジタル家電等の高性能化に伴い、電磁環境規制をいかにクリアするかが重要な課題となっています。そこで、電磁環境規制の概要と工業研究所の取組についてご紹介します。	雇用経済部	工業研究所	059(234)4037
12-7	ものづくり基盤技術の活用と工業研究所の取組について	ものづくりにおいて、3次元データの利用は、設計、製造、検査など様々な場面で使われるようになってきております。今回は、3次元データを利用した技術（リバースエンジニアリング等）の概要と工業研究所における取組についてご紹介します。	雇用経済部	工業研究所	059(234)4037
12-8	暮らしの中の鋳物と工業研究所の取組について	暮らしの中で様々なところに使われている鋳物について、鋳物の種類と使用箇所、製造方法、試験方法などを易しくご説明します。また、工業研究所における鋳物に関する取組についてご紹介します。	雇用経済部	工業研究所	059(234)4037
12-9	低温焼成磁器の開発と利用について	窯業研究室では、通常の温度に比べて200℃～300℃低い1100℃程度で焼成することで製造できる磁器を開発しました。この磁器は、製造における燃料費が大きく削減できる利点があり、ある程度光を透し、強度も高い利点があります。この磁器の製造技術をはじめ、利用方法などについてご説明します。	雇用経済部	工業研究所	059(234)4037

12-10	ドライフルーツの製造と工業研究所の取組について	消費者の健康志向や自然志向から、ドライフルーツの需要が高まっています。しかし、市販されているドライフルーツの大半は輸入品で、糖や油脂を多く用いた製品です。そのため、国産果実を用いて、副原料が少ないドライフルーツが求められています。三重県工業研究所は、県内の果実類を用いた特産品の振興を目的として、ドライフルーツの製法を研究していますので、その内容をご紹介します。	雇用経済部	工業研究所	059(234)4037
12-11	新エネルギーと工業研究所の取組について	低炭素社会の進展とともに、これまで化石燃料に依存していたエネルギーを見直し、太陽電池や燃料電池などの低炭素型エネルギーへの転換が求められています。これら低炭素型エネルギーの概要と工業研究所の取組についてご紹介します。	雇用経済部	工業研究所	059(234)4037
12-12	もっと知りたい！くらしの中の新エネルギー	東日本大震災や福島第一原子力発電所の事故をきっかけに、一変したエネルギーをめぐる状況について、太陽光発電などの新エネルギーを中心に、その現状や課題、国や県の取組、最近の動向などについてお話しします。	雇用経済部	エネルギー政策・ICT活用課	059(224)2316

### 13.世界に開かれた三重

テーマ番号	テーマ	テーマ概要	部局名	課名・地域機関名	電話番号
13-1	三重県の観光振興について	三重県観光の現状と今後の取組についてご説明します。	雇用経済部 観光局	観光政策課 観光誘客課 海外誘客課	059(224)2077 059(224)2802 059(224)2847
13-2	伊勢志摩サミットについて	平成27年5月26日・27日に開催された伊勢志摩サミットの概要（開催に向けた取組を含む）、伊勢志摩サミット後の三重県の取組（ポストサミット）、伊勢志摩サミット三重県民宣言（「誰もが幸せを実感できる三重」をめざして、県民の皆さんが積極的に行動、活躍していただくための宣言）について説明します。	雇用経済部	国際戦略課	059(224)2844

NEW

### 15.安心と活力を生み出す基盤

テーマ番号	テーマ	テーマ概要	部局名	課名・地域機関名	電話番号
15-1	高速道路の整備について	高速道路の整備方針についてご説明します。	県土整備部	道路企画課	059(224)3016
15-2	道路整備方針について	三重県内の道路に関する方向性を定める「道路整備方針」についてご説明します。	県土整備部	道路企画課	059(224)2739
15-3	これからの道づくりのあり方	三重県の道路の現状と課題、今後の取組についてご説明します。	県土整備部	道路建設課	059(224)2630
15-4	管内の道路整備について	管内における道路整備の現状と今後の取組についてご説明します。	県土整備部	桑名建設事務所 事業推進室	0594(24)3664
15-5	管内の道路整備について	管内における道路整備の現状と今後の取組についてご説明します。	県土整備部	四日市建設事務所 事業推進室	059(352)0675
15-6	管内の道路整備について	管内における道路整備の現状と今後の取組についてご説明します。	県土整備部	鈴鹿建設事務所 事業推進室	059(382)8687 059(382)6023
15-7	管内の道路整備について	管内における道路整備の現状と今後の取組についてご説明します。	県土整備部	津建設事務所 事業推進室	059(223)5208 059(223)5230
15-8	管内の道路整備について	管内における道路整備の現状と今後の取組についてご説明します。	県土整備部	松阪建設事務所 事業推進室	0598(50)0590 0598(50)0593
15-9	管内の道路整備について	管内における道路整備の現状と今後の取組についてご説明します。	県土整備部	伊勢建設事務所 事業推進室	0596(27)5295
15-10	管内の道路整備について	管内における道路整備の現状と今後の取組についてご説明します。	県土整備部	志摩建設事務所 事業推進室	0599(43)9635

15-11	管内の道路整備について	管内における道路整備の現状と今後の取組についてご説明します。	県土整備部	伊賀建設事務所 事業推進室	0595(24)8221
15-12	管内の道路整備について	管内における道路整備の現状と今後の取組についてご説明します。	県土整備部	尾鷲建設事務所 事業推進室	0597(23)3533
15-13	管内の道路整備について	管内における道路整備の現状と今後の取組についてご説明します。	県土整備部	熊野建設事務所 事業推進室	0597(89)6145
15-14	道路の維持管理について	生活や経済を支える道路について、いつまでも安全で安心してご利用いただくために、道路の維持管理についてご説明します。	県土整備部	道路管理課	059(224)2675
15-15	これからの港づくり	港湾を取り巻く状況やこれからの港湾のあり方などについてご説明します。	県土整備部	港湾・海岸課	059(224)2691
15-16	公共交通と私たちの生活	生活交通としての鉄道・バスを確保維持するための取組について説明します。	地域連携部	交通政策課	059(224)2805
15-17	モビリティ・マネジメントについて	過度なマイカー利用を見直し、公共交通機関や自転車、徒歩など、場面に応じて移動手段を適切に使い分ける、モビリティ・マネジメントの大切さについてご説明します。	地域連携部	交通政策課	059(224)2805
15-18	都市計画法の運用について	都市計画法の運用等についてご説明します。	県土整備部	都市政策課	059(224)2718
15-19	都市計画区域マスタープランについて	都市計画区域マスタープランの概要についてご説明します。	県土整備部	都市政策課	059(224)2718
15-20	屋外広告物のあらまし	地域の景観の重要な要素である屋外広告物について、屋外広告物法・屋外広告物条例を中心にご説明します。	県土整備部	景観まちづくり課	059(224)2748
15-21	美しい景観づくり	良好な景観づくりに向けては、県民、設計者・施工者、行政が各々役割分担をしながら協働することが大切です。景観法の活用方法や県の景観に対する取組などについて、ご説明します。	県土整備部	景観まちづくり課	059(224)2748
15-22	協働によるまちづくり	個性的で魅力あるまちづくりを実現するためには、その過程で住民のみなさんと共に考え作り上げていくことが大切です。住民参画のまちづくりをどのように進めるのか県民のみなさんと一緒に考えます。	県土整備部	景観まちづくり課	059(224)2748
15-23	参画と協働によるまちづくり	住民の方の参画をいただく「道路・河川・海岸美化ボランティア」や「自治会等への維持管理委託」などについてご説明します。	県土整備部	桑名建設事務所 総務・管理室、 保全室	0594(24)3662 0594(24)3663
15-24	参画と協働によるまちづくり	住民の方の参画をいただく「道路・河川・海岸美化ボランティア」や「自治会等への維持管理委託」などについてご説明します。	県土整備部	四日市建設事務所 総務・管理室、 保全室	059(352)0667 059(352)0671
15-25	参画と協働によるまちづくり	住民の方の参画をいただく「道路・河川・海岸美化ボランティア」や「自治会等への維持管理委託」などについてご説明します。	県土整備部	鈴鹿建設事務所 総務・管理室、保全室	059(382)8683 059(382)8691
15-26	参画と協働によるまちづくり	住民の方の参画をいただく「道路・河川・海岸美化ボランティア」や「自治会等への維持管理委託」などについてご説明します。	県土整備部	津建設事務所 事業推進室	059(223)5209
15-27	参画と協働によるまちづくり	住民の方の参画をいただく「道路・河川・海岸美化ボランティア」や「自治会等への維持管理委託」などについてご説明します。	県土整備部	松阪建設事務所 保全室	0598(50)0579
15-28	参画と協働によるまちづくり	住民の方の参画をいただく「道路・河川・海岸美化ボランティア」や「自治会等への維持管理委託」などについてご説明します。	県土整備部	伊勢建設事務所 事業推進室	0596(27)5295

15-29	参画と協働によるまちづくり	住民の方の参画をいただく「道路・河川・海岸美化ボランティア」や「自治会等への維持管理委託」などについてご説明します。	県土整備部	志摩建設事務所 総務・管理・建築室 保全室	0599(43)9627 0599(43)9626
15-30	参画と協働によるまちづくり	住民の方の参画をいただく「道路・河川・海岸美化ボランティア」や「自治会等への維持管理委託」などについてご説明します。	県土整備部	伊賀建設事務所 総務・管理室、保全室、 事業推進室	0595(24)8210
15-31	参画と協働によるまちづくり	住民の方の参画をいただく「道路・河川・海岸美化ボランティア」や「自治会等への維持管理委託」などについてご説明します。	県土整備部	尾鷲建設事務所 総務・管理・建築室、 保全室	0597(23)3527 0597(23)3539
15-32	参画と協働によるまちづくり	住民の方の参画をいただく「道路・河川・海岸美化ボランティア」や「自治会等への維持管理委託」などについてご説明します。	県土整備部	熊野建設事務所 総務・管理・建築室、 保全室	0597(89)6141 0597(89)6147
15-33	建築物の安全・安心	建築物の安全・安心の確保のためには、法の規制を遵守することはもとより、建築主・建築士・施工者等が適切に設計・施工・維持管理をすることなどが必要です。建築物の安全・安心確保のための手法や規制内容などについて、「建築基準法」や「建築物の耐震改修の促進に関する法律」などを中心にご説明します。	県土整備部	建築開発課	059(224)2752 059(224)2709
15-34	住まいの安全・安心	木造住宅の耐震化を中心とする住宅に係わる安全・安心についてご説明します。	県土整備部	住宅政策課	059(224)2720

16.行政運営					
テーマ番号	テーマ	テーマ概要	部局名	課名・地域機関名	電話番号
16-1	マイナンバー制度	マイナンバーの利用で行政手続がどのように変わり、皆さんの暮らしにどのような変化をもたらすのかなど、制度についてご説明します。	戦略企画部	戦略企画総務課	059(224)2009
16-2	地方創生の推進	国・地方の最優先課題として取組を進めている「まち・ひと・しごと創生」について、県が策定した「三重県人口ビジョン」及び「三重県まちひとしごと創生総合戦略」の概要をご説明します。	戦略企画部	企画課	059(224)2025
16-3	みえ県民カビジョンについて	「みえ県民カビジョン」は、長期的な視点から、三重のあるべき姿を展望し、県政運営の基本方針や政策展開の方向性を示す、平成24年度からおおむね10年先を見据えた県の戦略計画です。平成28年度からは、第二次行動計画もスタートしましたので、このビジョン及び計画の概要をご説明し、推進に向けてのご意見をお聴きします。	戦略企画部	企画課	059(224)2025
16-4	県境を越える交流・連携の推進	広域的な取組を強化するため推進している他府県との交流・連携や全国知事会の活動などについてご説明します。	戦略企画部	政策提言・広域連携課	059(224)2089
16-5	地方分権改革の推進	真の分権型社会の実現に向け、全国知事会や他府県と連携して進めている取組についてご説明します。	戦略企画部	政策提言・広域連携課	059(224)2089
16-6	三重県における情報公開と個人情報の保護	三重県では、「県情報の共有化」をめざして積極的な情報公開を推進するとともに、県が保有する個人情報の適正な取り扱いを図っています。情報公開条例や、個人情報保護条例の内容などを、わかりやすくご説明します。	戦略企画部	情報公開課	059(224)2071
16-7	第二次三重県行財政改革取組	平成28年度から取り組んでいる「第二次三重県行財政改革取組」について、概要及び進捗状況をご説明します。	総務部	行財政改革推進課	059(224)2231
16-8	三重の財政状況	三重県の財政状況、平成29年度予算の概要やそのポイントなどについて、ご説明します。	総務部	財政課	059(224)2216
16-9	公共事業評価制度について	公共事業の実施プロセスの公正性・透明性を向上させるため、事業着手前の事前評価、事業実施中の再評価、事業完了後の事後評価等、公共事業評価のしくみについてご説明します。	県土整備部	公共事業運営課	059(224)2915
16-10	住民監査請求をご存知ですか？	住民監査請求制度のあらまし、手続等についてご説明します。	監査委員事務局	総務・評価課	059(224)2922

16-11	監査は誰のため、何のため	監査の役割と監査の状況及びその結果についてご説明します。	監査委員事務局	監査・審査課	059(224)2923
16-12	労働委員会の仕事について	労働委員会は、公益委員、労働者委員、使用者委員それぞれ5名ずつ、計15名で構成する行政委員会で、公正・中立な立場で労使紛争を解決するお手伝いをしています。 「みえ出前トーク」では、労働委員会のしくみや、労働争議のあっせん制度等についてご説明します。	労働委員会事務局	労働委員会事務局	059(224)3033

17. 県議会関係					
テーマ番号	テーマ	テーマ概要	部局名	課名・地域機関名	電話番号
17-1	県議会の仕組みや役割	県議会の仕組み、請願や陳情の提出方法、意見書や決議など、県議会の役割についてご説明します。	議会事務局	議会事務局	059(224)2877
17-2	三重県議会の議会改革	分権時代を先導する議会をめざして取り組んできた、三重県議会の様々な議会改革についてご説明します。	議会事務局	議会事務局	059(224)2877